

えがお びより

平成30年1月発行

笑顔日和

謹賀新年

社会福祉法人 桂川福祉会

明日香園

特別養護老人ホーム 明日香園
短期入所生活介護事業所 明日香園
ケアハウス明日香園
デイサービスセンター 明日香園
在宅介護支援センター 明日香園
居宅介護支援事業所 明日香園

TEL 0948-65-5500(代)

メール asuk@lime.ocn.ne.jp

http://www.asukaen.or.jp



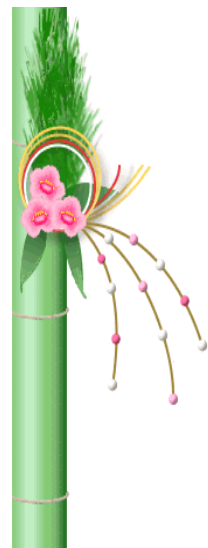
皆様方におかれましてはどのような年をお迎えになられたでしょうか？
昨年は九州北部豪雨があり、福岡県では筑後地区を中心に甚大な被害が発生しました。これにより被災された皆様方の生活支援等を行うため、福岡県老人福祉施設協議会と連携をとり、当法人の職員数名を現地に派遣致しました。また、所属する桂川町社会福祉法人連絡会からも東峰村へ法人職員が出向き、現地復旧応援の活動を行ってまいりました。この活動が微力ながら被災地の方々のお役にたてたなら幸いと思っております。
さて、今年は医療・介護の報酬が同時に改定されることとなります。いまだ社会保障費の拡大に日本経済が追走しておらず、報酬単価の大幅な増加は期待できません。その状況においても、当法人のモットーである「心触れ合う、きめ細かな心遣い」を忘れることなく、職員が一致団結して、地域で暮らす皆様への貢献を果たしていきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

社会福祉法人 桂川福祉会

理事長 神崎 一洋

特別養護老人ホーム明日香園

施設長 野見山直博



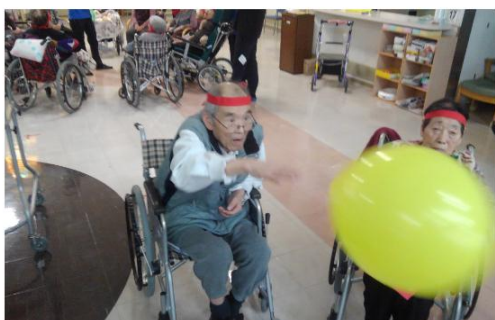
明けまして
おめでとうございます



三部署 合同行事



11月17日、三部署合同の運動会を開催しました。
 今年も赤チーム・白チームに分かれての対抗戦。
 個人戦のパン食い競争の他、チーム戦での大玉転がし・風船バレー等を行いました。
 デイサービスでは数日前から練習を開始。周囲の声援にも支えられ、どちらのチームもすばらしい成績でした。



三部署合同行事

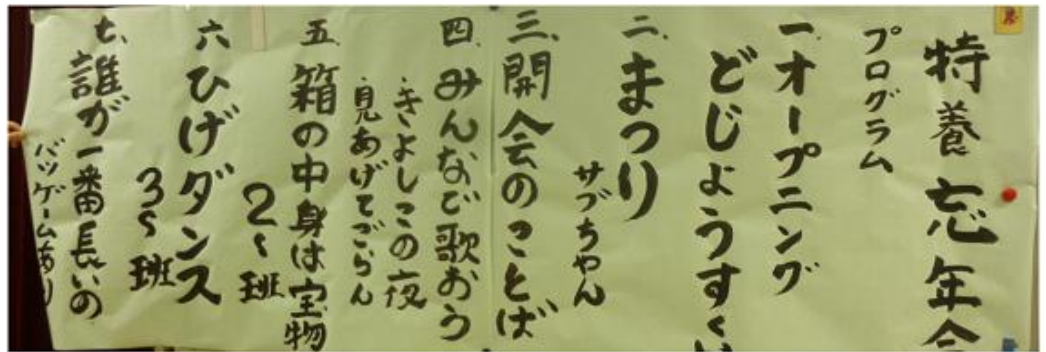


10月25日、桂川小学校2年生の児童50名が来園し、入所者やデイ利用者の方々に対して、職員と一緒に血圧測定等の体調確認や散歩などを行いました。
また、読み聞かせやダンスも披露され、参加された皆さんからは「元気をもらえた」「(児童と)手をつないで歩いたことが嬉しかった」などの感想が聞かれました。

笹尾地区ボランティアサークルの方々が、12月11日に当園へ慰問に来て下さいました。しっとりした踊りにコミカルな装いなどで、参加された皆さんを笑いと拍手の渦に包み込みました。



特養&ショート



12月21日、特養入所者及びショート利用者の方々、そして介護・看護職員、厨房職員、事務職員等と一緒に忘年会を楽しみました。明日香園の職員は皆、芸達者です。歌や踊りなどの余興に、参加された皆さんは大爆笑。一年の締めくくりを笑顔の中で終えたことを喜ばしく思います。

平成30年も笑顔あり、涙ありの、賑やかな年になりそうです。



12月19日・20日・24日に各班でクリスマス会を開催しました。
 クリスマスソングがBGMで流れる中、生クリームが甘い香りが漂うスポンジ生地、慣れない手つきで、デコレーション用の果物を飾りつけ。
 手作りのクリスマスケーキを食べた後は皆でクリスマスソングを合唱しました。



デ「イサービス

10月下旬から11月中旬にかけて、『おおとう道の駅』へコスモス見物へ出かけました。
 本当の目的？は、コスモスよりも面白い物や食事…:でしようか(笑)



12月18日・22日に、忘年会を開催しました。職員のダンスの他、平山地区のボランティアサークルの方々が慰問に来て下さり、ステキな歌と楽しい踊りを披露していただきました。
 ご利用者の方も飛び入りでダンスに参加されたり、カラオケを歌われたり…
 最後はお待ちかねのビンゴゲームで、豪華な景品をゲット！皆さん、手元のカードを真剣に見つめ、番号が読み上げられるたびに「あった」「ない」等の声が上がっていました。



12月のお楽しみ会ではスノードームを手作りしました。
 「スノードームを初めて知った」という方もいましたが、皆さん上手に作る事ができていました。



八木山



八木山展望台
に宗像大社。
紅葉を求めて
ドライブに出
かけました。

クリスマス
ケーキを思
い思いに飾り
つけ♡
もちろん味
もバツグンで
すよ！



ケーキ作り風景



三部署合同行事

11月23日に
明日香園で
県民介護講座『認
知症について考え
るつどい』が開催
され、特養の竹山
介護主任と、在宅
介護支援センター
の谷口相談員が、
施設における認知
症介護の実際と
認知症の特徴な
どについて説明を
行いました。



12月5日、
日中・夜間の火災
等を想定し、合同
の避難訓練を実
施しました。
その他、車椅子の
使い方や人形を
使った心肺蘇生法
も再確認しました。



11月15日に公益
法人「虹の会」に
よる「虹のキャラ
バン」(老人福祉
施設巡回訪問)
が開催され、歌
手の阿万浩一
さん、根本美希
さんの歌謡
ショーの他、音楽
療法士の方の指
導によるリズム
体操等を楽しみ
ました。
根本さんはなん
と、桂川町の盆
踊り、よかたい音
頭、を歌っている
方なんですよ！
意外な縁にびっ
くりです！

編集後記

▽平成30年1月1日 午前7時15分
日の出前の「長谷山」(嘉麻市・桂川町に
麓を置く標高311M)は登山者500人
の大きな拍手と歓声に包まれた。山頂で開
催される「長谷山/初日の出を見る会」
(主催 長谷山を愛する会)のイベントに
今年も同会会員で明日102歳になる梶井
チトセさん(嘉麻市在住 大正5年1月2
日生まれ)が自力で山頂に到達した。この
山は雑誌九州ウォーカーなどでは気楽なハ
イキングコースの低山として紹介してある
が、登り始めには急な階段が続ぎ、日頃運
動不足の身体には決して楽なコースとは言
えない。
▽山頂に着いた梶井さんは、息を切らすこ
ともなく、出迎えた登山者との記念撮影や
マスコミのインタビューに平然と対応する
姿には恐れ入る。
同行した長男の梶井輝久さん(77歳)「最
近、婆さんは物忘れが出て、言った先から
忘れよる」と笑顔で数回語った。この笑顔
と数回語る大らかな接し方がチトセさんの
元気の源となり、登山者全員に諦めない気
持ちと勇気を与えるのだろう。
▽昨年、この山で整備による伐採等を施工
したときに、長さ約10㍎・高さ1.5㍎の
石垣が出土した。文献によると「四方に石
垣」とあることから、その一部分ではない
かと考えられる。にわか歴史家の意見で
はあるが曲輪(くるわ)跡の姿や数などか
ら、山全体が広大な城だったとも思える。
近隣の益富城同様、他の調査や整備が行
われることを期待したい。